



持ってて安心 お薬手帳活用—10の役割—

あなたの健康を守るために



① 病院・薬局へ必ずもって行きましょう

薬の重複や飲み合わせの悪いものを避けるため、医師と薬剤師の確認が必要です。

② 一冊にまとめましょう

お薬手帳を病院・薬局ごとに分けてしまうと必要なチェックが出来なくなります。

③ 必ず記入しましょう

同じ薬でも記入することでいつから、どのくらいの期間服用したかわかります。

④ いつも飲んでいる市販薬・健康食品サプリメントも記入しましょう

健康食品やサプリメントの中には医療用の医薬品と飲み合わせの良くないものもあります。

⑤ いつも携帯しましょう

災害・事故・急病時に適切な処置が速やかに受けられます。出張や旅行にも持って行きましょう。

⑥ ご家族にも服用している薬を知ってもらいましょう。

急な時など、ご家族の理解が必要なこともあるかもしれません。ひとめで薬が分かるようしっかり記載してもらいましょう。

⑦ 副作用歴を書いてもらいましょう

もしも副作用が起きてしまったら、今後また同じ薬が処方されないためにも。

⑧ 主な持病を書いておきましょう

病気によっては薬が合わない疾患や薬を減らさないといけないものもあります。

⑨ アレルギー体質があれば記入しておきましょう

薬には体質によって避けた方が良いものがあります。

⑩ 薬に関する疑問や検査値をメモしていきましょう

次の受診の時や薬局に行った時に聞いてみては？検査値を継続的に書いておくのも良いですよ

記入例

副作用の起こった時期・薬品名・症状など

「無」の記入もお忘れなく



医療機関における「お薬手帳」への記録には、言の定めの規定による非定方法に伴い所定の費用がかかりますが、健康保険および各種公費負担医療制度が適用されます。

お薬手帳はあなたの健康・安全へのパスポートです

(社) 山口県薬剤師会・山口県病院薬剤師会